

# Press Release



Add value.  
Inspire trust.

2024.01.29

## テュフズード、デンソーに自動車向けサイバーセキュリティ ISO/SAE21434 認証を発行

Tokyo/Japan. 国際的な第三者認証機関であるテュフズード(本部:ドイツ・ミュンヘン)は、株式会社デンソー(所在地:愛知県刈谷市、代表取締役社長:林新之助)に対し、自動車向けサイバーセキュリティ ISO/SAE21434 認証を発行しました。



コネクテッドカーをはじめとする自動車関連の技術向上に伴い、サイバーセキュリティ対策の重要性も高まっています。欧州では2022年7月以降、車両型式認証にサイバーセキュリティ要件(国連協定規則 UNECE-R155 準拠)の実装化が義務化されました。さらに2024年7月からは、既認可車両型式にも同規則への適合が義務化されます。国内でも同規則の導入を含む保安基準が施行されている中、同規則への適合に対する参考

指針として、国際規格 ISO/SAE 21434:2021 が注目されています。

このたびテュフズードは、株式会社デンソーの製品ライフサイクル全体のプロセスに対し、ISO/SAE 21434:2021 認証を発行しました。本規格は、自動車業界におけるサイバーセキュリティ対応のための国際規格で、サイバー攻撃のリスクを最小限に抑えるための製造から廃棄に至るガイドラインが定められています。本認証取得により、デンソーは、セキュアな開発プロセスを通じて車両部品やシステムが提供されていることが第三者により客観的に確認されたことを証明できるようになりました。

Dirk von Wahl(テュフズード North Asia CEO)は次の通り述べています。「企業にとってセキュリティ対策はテクノロジー上の課題にとどまらず、コーポレートガバナンス上の課題でもあります。このたびグローバルなモビリティサプライヤーであるデンソー社に ISO/SAE 21434 認証を提供できたこと、そして日本の自動車業界に貢献できたことを大変嬉しく思っています」

今後もテュフズードジャパンは、自動車、産業機器、医療機器など幅広い業界に対する認証やトレーニングサービスを通じ、国内のサイバーセキュリティ対策の促進に貢献していきます。

写真左から:株式会社デンソー 情報セキュリティ推進部 製品セキュリティ室長 平永敬一郎氏、テュフズード North Asia CEO Dirk von Wahl



認証授与式にて

### 自動車向けサイバーセキュリティ ISO/SAE 21434:2021 とは

2021年8月に発行された、自動車業界におけるサイバーセキュリティ対応のための国際規格。自動車に搭載されるシステムやデバイスが持つハッキングやサイバー攻撃へのリスクを最小限に抑えるため、製造から廃棄までのガイドラインが定められています。国連協定規則 UNECE-R155 への適合に対する参考指針としても注目されています。テュフズードジャパンは、自動車サプライチェーン全体をカバーする ISO/SAE 21434 プロセスおよび製品認証に加え、資格認定トレーニングコースも提供しています。詳細はこちら: <https://www.tuvsud.com/ja-jp/themes/cybersecurity/automotive>

### お問い合わせ先:

テュフズードジャパン株式会社  
マーケティング部  
160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4  
住友不動産西新宿ビル 4号館 8F

<https://www.tuvsud.com/ja-jp/contact-us>  
お問い合わせの分野にて「採用・総務・マーケティング  
に関するお問い合わせ」をご選択ください。

1866年に蒸気ボイラーの技術検査協会として設立されたテュフズードグループは、グローバル企業へと進化しました。テクノロジー、システム、専門的なナレッジを常に向上させるために、約50か国に1,000以上の拠点を置き、26,000以上の従業員が活動しており、インダストリー4.0、自動運転、再生可能エネルギーなどの技術革新の安全性、信頼性に大きく貢献しています。 [tuvsud.com](https://www.tuvsud.com)